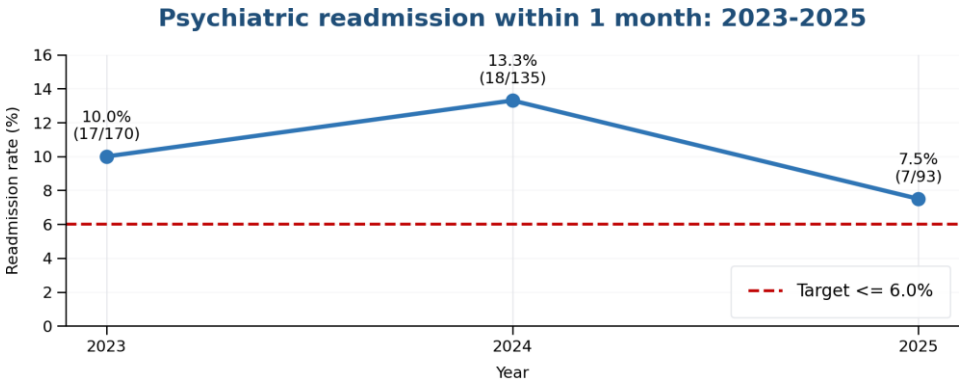


精神科患者における 1 か月以内再入院率

独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター | 2023～2025 年

年度別実績

年	分母	分子	再入院率
2023	170	17	10.0%
2024	135	18	13.3%
2025	93	7	7.5%



評価

2025 年は 7.5%（7 件／93 人）で、2024 年の 13.3%から 5.8 ポイント低下した。目標値 6%以下には達していない。

指標の解釈

年度により分母が異なるため、再入院率に加えて分母・分子を併記している。単年度の変動だけでなく、複数年度の推移として把握する。

総括：2025 年は前年より改善したが目標未達であり、再入院症例の分析と退院支援プロセスの継続的な評価が必要である。

評価と質改善への活用

観点	内容
指標の把握	2023 年 10.0%、2024 年 13.3%、2025 年 7.5%と年度別に推移を確認している。
現状評価	2025 年は前年より改善した一方、目標 6%以下には未達である。
分析の視点	再入院までの日数、再入院理由、診断群、退院先、退院時の支援状況、退院後の医療・福祉サービス利用状況を確認する。
プロセス評価	退院前多職種カンファレンス、外来予約、服薬説明、地域支援者への情報提供等の実施状況を確認する。
継続評価	再入院率だけでなく、分母・分子、再入院理由、退院支援プロセスの実施状況を併せて評価する。

今後の重点的な確認項目

項目	確認内容
再入院症例のレビュー	再入院理由を、症状再燃、服薬関連、身体合併症、生活環境、家族・支援体制、その他に整理する。
層別分析	診断群、病棟、入院形態、退院先、入院期間、既往入院、訪問看護・地域支援利用の有無で確認する。
退院支援プロセス	退院前カンファレンス、退院後の受診予定、服薬・危機対応の説明、地域支援者との連携状況を確認する。
再測定	年度値に加え、可能な範囲で四半期ごとの分母・分子・率を確認する。
標準化	有効な支援方法を院内の退院支援手順に反映し、継続して評価する。

質改善サイクル

指標の確認 → 再入院症例の分析 → 改善課題の選定 → 多職種による対応 → 再測定 → 標準化・見直し

参考資料

- 国立病院機構「臨床評価指標について」
- 日本医療機能評価機構「機能種別と評価項目」